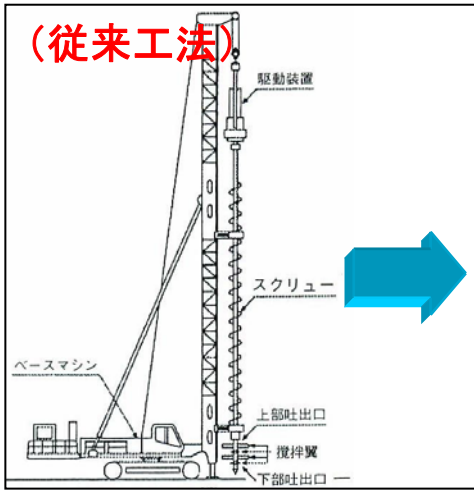
「公共工事コスト縮減対策に関する新行動指針」
【 施策名：（1）工事コストの低減　1）工事の計画・設計等の見直し　④技術開発の推進　】

②　大口径の地盤改良工法の採用によりコスト縮減

工事名：寺津排水樋門工事
概　要：（従来）　　（新）
スラリー撹拌工（CDM工法等）　⇒　テノコラム工法

効　果：
① 土の共回り現象による不均一な改良を防止するため、特殊な共回り防止翼（ﾃﾉﾌﾞﾚｰﾄﾞ）を取り付けた撹拌装置を用いることで品質が向上。
② 従来工法の改良径が1000mmに対し、テノコラム工法の改良径は1500mmであり、改良本数を削減でき、工事費の縮減及び工期の短縮が図れる。
■ 工事費を、205百万円から189百万円に縮減。
（縮減額　16百万円、縮減率　約8％）

（従来工法）



（新工法）







国土交通省　東北地方整備局　山形河川国道事務所